

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録や臨床検体を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや臨床検体を利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究名】二光子顕微鏡を用いた乳腺領域の病理検体の観察及び、臨床病理組織学的因子との関連性の検討

【研究機関】愛媛大学医学部附属病院 乳腺センター

【研究責任者】亀井 義明(乳腺センター センター長)

【目的・意義】

二光子顕微鏡は、従来の顕微鏡と比較して、より高い解像度および最小限の光毒性を含むいくつかの利点を有する新しい顕微鏡です。従来の顕微鏡検査のための標本の作成時には、固定・包埋・薄切・染色などの時間や人的労力を要するが、二光子顕微鏡では固定や染色なくとも新鮮組織で自家蛍光や間質の線維化の観察が可能です。今回、乳腺腫瘍の鑑別診断や治療効果予測などに有用となる新たな因子を二光子顕微鏡を用いて探索する研究を行うことにしました。

【研究方法】

対象患者:愛媛大学医学部附属病院にて2012年～2018年7月に手術を施行され、手術検体の病理学的診断が行われた乳腺腫瘍(乳癌および良性乳腺腫瘍)の患者さん

方法:未染のブロック検体を二光子顕微鏡にて観察を行います。また各症例の臨床病理学的因子をカルテより抽出し、二光子顕微鏡の所見と比較検討を行うことで、良悪や組織型の鑑別や治療効果予測に有用な因子を探索します。また、候補となる因子が同定できた後は、診断のための針生検検体でも検討を行い、診断のための生検検体で二光子顕微での観察が有効性かどうかについても検証を行う予定です。

【研究期間】

2018年8月1～2025年3月31日

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院乳腺センター センター長 亀井 義明

〒791-0295 愛媛県東温市志津川

電話番号:089-960-5327

【情報管理責任者】 乳腺センター医員 田口加奈